

(仮称) 生駒北小中一貫校設計業務のプロポーザルについて

1 基本理念（案）

生駒北地区は、茶釜などの伝統産業に代表される歴史と奈良先端科学技術大学院大学の最先端の科学技術に象徴される未来が融合する地域です。

この生駒北地区における教育環境の整備・充実を図るため、生駒北小学校と生駒北中学校を統合して、生駒市初となる施設一体型小中一貫校を開設します（高山スーパースクールゾーン構想）。

小学校から中学校まで一貫した教育方針のもと、地域に学び、確かな学力と豊かな人間性を身につけた未来に生きる人材の育成を目指し、教育環境を整備します。

2 事業の概要

(1) 建設予定地

現生駒北中学校敷地

(2) 建物用途

- ・小中一貫校校舎（12 学級、管理諸室、特別教室等 ※別紙 1 参照）約 6,000 m²

(3) 事業スケジュール（予定）

- ・解体工事 平成 27 年度（生駒北中学校校舎）
- ・建設工事 平成 28 年度

3 プロポーザルについて

設計者選定方法の 1 つで、目的が価格のみによる競争入札に適しないと認められる場合において、実績、専門性、技術力、創造性等を勘案し最適な「設計者（人）」を選ぶため、一定の条件を満たす提案者から技術提案書の提出を受け、ヒアリング等を実施した上で審査・評価を行い、当該業務の履行に最も適した受託候補者を選ぶ方式のことです。

(1) プロポーザルのスケジュール（予定）

- 6 月 プロポーザル審査委員会の設置、プロポーザルの告示
- 7 月 第 1 次審査（事務所の実績、担当する技術職員の実績・経験等による審査）
- 8 月 第 2 次審査（技術提案による審査）

(2) 施設に求める内容 (例)

① 施設一体型の利点を生かし小中学校の教職員が協働しやすい機能的な施設

② 環境への配慮 (環境モデル都市・生駒に相応しい施設)

- ・太陽光発電など再生可能エネルギーの導入

- ・パッシブ技術 (※1)、アクティブ技術 (※2) を活用した省エネルギー化の推進

(※1) パッシブ技術=自然エネルギーを用いて室内環境を快適にする技術

(例) 間仕切り壁の断熱化、通風窓 (ルーパー窓) の導入、複層ガラスの採用など

(※2) アクティブ技術=機械設備による動力を利用した技術

(例) 太陽光発電設備、人感センサー、LED照明、省エネ型エアコンの設置など

- ・緑豊かな自然環境や住環境との調和

- ・ライフサイクルコストの縮減

③ 地域の防災拠点としての機能